

事務事業名	二宮地区公民館まつり				担当	教育委員会 生涯学習課 真岡市公民館二宮分館	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				増補版施策名	
施策名	1	生涯学習の推進				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度平成21年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	3. 公民館費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（年度～年度）	
事業概要	二宮地区で行われている各種趣味のクラブや団体の日頃の練習成果の発表の場として、公民館連絡協議会、各種団体の協力により、真岡市二宮コミュニティセンターにおいて芸能発表、作品展示や講座体験を行う。						

1. 現状把握の部（1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 二宮地区地域公民館連絡協議会役員12名、団体代表の18名からなる実行委員会を組織し、実行委員会を2回開催 チラン作成、役割分担、祭りの準備等協議 参加住民約1,000名 地域公民館参加数延べ16館 その他の参加35団体 総事業費350,000円（内、市交付金72,000円、二宮地区公民館連絡協議会繰出金150,000円ほか） 30年度計画 29年度実績に同じ。			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
			名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
			ア 打ち合わせ会議の回数		4	4	4	4	4
			イ 地域公民館の参加数		25	14	14	16	16
			ウ 参加した住民の数		900	900	900	1,000	1,000
			エ 団体の参加数		34	37	33	35	35
			オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 二宮区域内地域公民館及び住民			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
			名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
			ア 地域公民館数		59	59	59	59	59
			イ 地域住民数		15,901	15,556	15,078	15,511	15,376
			ウ						
			エ						
			オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 公民館まつりに参加してもらい、地域住民のコミュニケーションと地域活性化を図る。			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
			名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
			ア 参加公民館 / 地域内公民館数		42.4	23.7	23.7	27.1	27.1
			イ 参加住民数 / 地域住民数		5.7	5.8	6.0	6.4	6.5
			ウ						
			エ						
			オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 公民館活動を活性化し、住みよい地域づくりに結びつける。			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
			名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
			ア 公民館活動の活性化を感じている住民数		900	900	900	1000	1000
			イ 地域活動に取り組んでいる市民の割合		43.7	45.6	41.5	39.7	
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移			単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	72	72	72	72	72	
		事業費計（A）	千円	72	72	72	72	72	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	
		人件費計（B）	千円	338	335	332	332	332	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	410	407	404	404	404	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		地域公民館活動の活性化と地域住民のコミュニケーションを目的に平成21年度から開始。							
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		公民館まつりに楽しく参加することができたという意見が多い。 平成27年度からは、「いたどまち」及び「JAまつり」と同日に開催している。							

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公民館活動の啓発、地域住民のコミュニケーションを図ることは、住みよい地域づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公民館活動の充実、市の施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地域公民館と地区住民である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 地域公民館の活性化と地域づくりが行われている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域活動や連帯意識の低下につながる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業運営の最小限の交付金である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議・運営に係る人件費であり削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地区全ての人を対象にしているので、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								